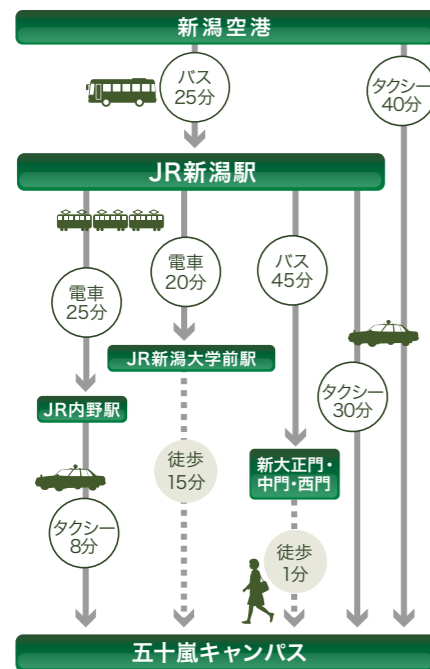


## 新潟大学農学部へのアクセス



### 新潟空港から新潟駅まで

約30分毎にバスが出ています。

### 新潟駅から新潟大学 五十嵐キャンパスまで

#### ■鉄道利用1 (タクシーを利用しない場合)

JR越後線にて新潟駅 → 新潟大学前駅下車(約20分)

新潟大学前駅 → 新潟大学正門(徒歩約15分)

#### ■鉄道利用2 (タクシーを利用する場合)

JR越後線にて新潟駅 → 内野駅下車(約25分)

内野駅 → 新潟大学正門(タクシー約8分)

#### ■タクシー利用

新潟駅 → 新潟大学正門(約30分)

#### ■バス利用

新潟駅バスターミナル7番のりばよりW2西小針線

(「新潟大学」行または西小針・新潟大学經由「内野営業所」行)

乗車 → 新大正門・新大中門下車(45分)

### 新潟駅近郊案内図



### キャンパス内案内図



〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

#### ●学務係

TEL (025)-262-6605

E-mail nougaku@agr.niigata-u.ac.jp



新潟大学農学部

Faculty of Agriculture, Niigata University

Faculty of Agriculture  
Niigata University 2027

# 新潟大学農学部

2027年度 学部案内



#### ● 応用生命科学プログラム

Applied Life Science Program

#### ● 食品科学プログラム

Food Science Program

#### ● 生物資源科学プログラム

Program of Agriculture and Bioresources

#### ● 流域環境学プログラム

Program of Environmental Science for Agriculture and Forestry

#### ● フィールド科学人材育成プログラム

Program of Field Research in the Environmental Sciences



## 学部長あいさつ

農学は「生命」・「食料」・「環境」を支える総合科学です。

農学は、農林水産業の基盤としての学問であるのはもちろんですが、人類社会に深く関わる「生命」・「食料」・「環境」を支える総合科学としても重要です。今日、人類が直面している人口、食料、環境、エネルギー等に関わる諸問題は、総合科学としての農学分野が中心となって取り組むべき課題と言えます。その際には、理学、工学、医学、社会科学等のあらゆる分野との連携・融合も必要になってきます。農学は今、最も注目を集める学問分野の一つと言っても過言ではありません。

新潟大学農学部は、「食料生産と環境保全に関する幅広い基礎学力と総合的応用力を備え、我が国のみならず世界で活躍できる、創造性豊かで広い視野を持った人材の育成」を教育目標として、地域、国内および国際社会で活躍する多くの農学系人材を送り出してきました。本学部は、これまでの教育研究の豊富な実績を踏まえつつ、地域と社会が求める多様なニーズに柔軟に対応できるように、2017年4月から1学科5プログラムの新たな体制で教育研究をスタートさせました。新たな体制では、新潟の代表的な産業である食品分野の教育研究と人材育成を強化するとともに、理学部との学部横断型プログラムを新設する等、農学分野の教育研究の柱である「生命」・「食料」・「環境」の教育研究をさらに充実させました。具体的には、農林畜産物の生産・加工・流通、生命現象の解明に基づく最新のバイオテクノロジー、生物機能の開発と応用、食品の機能性や新たな加工技術、地域および地球環境の理解と保全、野生動植物の生態と保護等に関する幅広い、そして先端的・実践的な教育研究を展開しています。

新潟大学農学部の卒業生の就職率は毎年高く、就職を希望する学生のほとんどが就職できている状況にあります。また、本学部は国際交流やグローバル人材の育成にも力を入れています。アジア諸国はもちろんのこと、遠くロシアやトルコ等からも留学生を受け入れるとともに、それらの国々の協定校への学生派遣も行っています。その際には、学生支援機構の奨学金等の支援制度を活用し、留学を希望する学生が少ない自己負担で海外へ派遣されています。

新潟は佐渡島を含め、山から平野、そして海に至る豊かな自然環境に恵まれており、多様な動植物を見ることができます。また、コシヒカリに代表される美味しいお米や、さまざまな農産物を産出する日本有数の食料生産地帯であり、1,000社を超える食品関連産業が集積する我が国固有数の「食づくり」地域です。米どころ新潟を支えるための分水路や排水機場等、大規模な治水工事の成果も目にすることができます。また、新潟は雪崩や地滑りの多発地帯であり、その防災・減災技術も進んでいます。このような農学を学ぶ上で恵まれた環境にあることを生かし、新潟大学農学部は、総合科学である農学の諸分野の基礎から応用に至る幅広い教育研究、新潟の地域性を生かした特色ある、そして先端的な教育研究を推進し、毎年多くの有為な人材を輩出しています。



新潟大学 農学部長  
西海 理之

農学部は、21世紀における「持続的な農業の発展と環境の保全」を目指し、総合的な教育研究を弾力的に推進・発展させるため、以下のような目標を掲げています。

1. 生物生産産業の発展、自然環境との共生に向けて、最新のバイオテクノロジーや情報科学等の科学技術を導入しつつ、多様化する社会の要請に柔軟に対応し得る教育・研究体制の確立
2. 地域農業の生産性の向上や農林業を基幹とした農山村の振興等に貢献する教育研究
3. 国際的な視野を持ち基礎科学と応用技術を活用できる人材の養成
4. 学際的な研究の活性化および地域貢献型プロジェクト研究の推進

## 新潟から世界へ

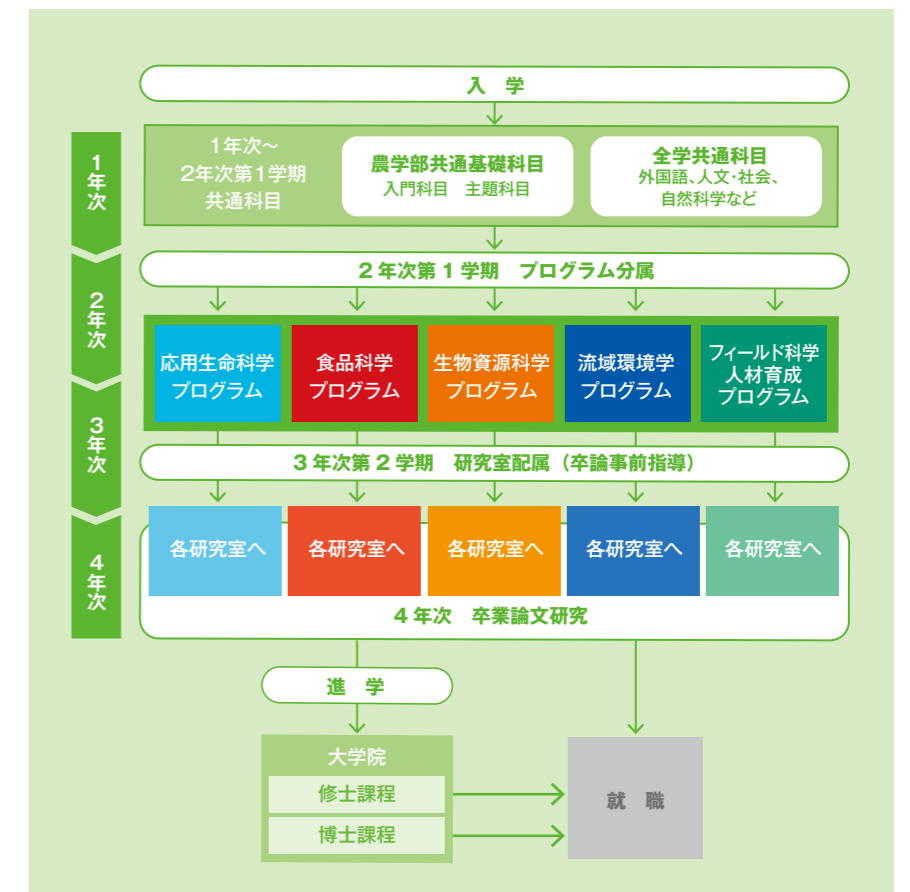
新潟大学農学部では、農学科の中に5つの学位プログラム「応用生命科学プログラム」・「食品科学プログラム」・「生物資源科学プログラム」・「流域環境学プログラム」・「フィールド科学人材育成プログラム」を設けて専門的な教育を行い、地域や社会が抱える諸問題を多角的視点から総合的に理解し、具体的な解決策を提言できる構想力・リーダーシップ力・高い倫理観をあわせ持ち、我が国のみならず広く世界で活躍できる人材を養成します。

入学後、専門教育を受けるために必要な語学、自然系共通専門基礎、情報リテラシー等の基礎科目、幅広い知識を身につけるための人文社会・教育科学、自然科学等に関する教養科目を履修します。同時に、農学に関わる基本的知識を修得するために「農学入門」等の農学部共通基礎科目を受講します。

その後、2年次第1学期から5つの学位プログラムに分かれ、各分野における専門的な教育を受けます。学位プログラムには、食品分野に関する教育研究に特化した「食品科学プログラム」、農学分野の教育研究の柱である「生命」・「食料」・「環境」に明確に対応した「応用生命科学プログラム」・「生物資源科学プログラム」・「流域環境学プログラム」、環境保全や災害・復興対策等の諸問題を解決できる実践力を備えた人材の育成を目的として理学部と連携した「フィールド科学人材育成プログラム」があります。なお、分属先は、本人の志望と成績により決定します。さらに、3年次第2学期以降、卒業論文指導予定教員を決定し、4年次の1年間卒業論文研究を行います。



## 入学後のスケジュール



## 新潟大学農学部 2027年度 学部案内

学部長あいさつ ..... 01

新潟から世界へ ..... 02

### 学位プログラム

応用生命科学プログラム ..... 03

食品科学プログラム ..... 05

生物資源科学プログラム ..... 07

流域環境学プログラム ..... 09

フィールド科学人材育成プログラム ..... 11

フィールド科学教育研究センター ..... 13

入試情報 ..... 14

アクセス ..... 15



**アドミッションポリシー**

化学と生物学を基盤とした最新のバイオサイエンス・バイオテクノロジー・ゲノムサイエンス等、微生物・植物・動物の生命現象とその応用に関する高度な専門知識と実験技術の修得に強い関心のある人を歓迎します！



# 応用生命科学プログラム

Applied Life Science Program



分析化学実験 実験風景



先端機器を使用した研究風景

## 取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(農業)
  - 食品衛生管理者(※1)任用資格
  - 食品衛生監視員(※2)任用資格
  - 危険物取扱者(甲種)(※3)受験資格
- (※1)食品製造に関わる事業所、(※2)食品衛生に関する業務を行う検疫所(厚生労働省)・保健所(各自自治体)・技術系公務員、(※3)研究所・化学工場・貯蔵施設で必要とされる資格です。

## 卒業後の進路

一般企業：富士フィルム和光純薬、フナコシ、資生堂、コーセー、高砂香料、ファンケル、岩瀬コスファ、関東化学、第一三共、日本ジェ

ネリック、ニプロ、クラレ、グンゼ、ダイセル、マツモト交商、オルビス、カネカ、カネコ種苗、タキイ種苗、キュービー、マルハニチロ、理研ビタミン、八海醸造、朝日酒造、山崎製パン、ソントン食品、昭和産業、亀田製菓、ブルボン、一正蒲鉾、タケショー、新潟県農業共済組合、三幸製菓、日清食品、味の素 AGF 等

公務員：環境省、農研機構、国土交通省、農林水産省、検疫所、警察庁、新潟県、群馬県、福島県、宮城県、山形県、富山県、新潟市、横浜市 等

大学教員：新潟大学、茨城大学、東京農工大学、秋田県立大学、石川県立大学、山形大学 等

## 先輩からのメッセージ

私は生物や化学に興味があり、それらを学ぶことのできる応用生命科学プログラムを選択しました。このプログラムでは、研究に必要な専門知識や技術を講義および学生実験を通して学ぶことができます。

3年後期で研究室に配属され、現在、カニの甲羅などに含まれるキチンを分解する細菌由来の酵素の特性を調べる研究を行っています。研究テーマに取り組むなかで、うまくいかないこともあります。先生方や研究室のメンバーから助言をいただいて、日々研究に励んでいます。このプログラムと一緒に充実した研究生生活を送ってみませんか。



新潟大学大学院  
総合学術研究科  
修士課程1年  
森山 結彩

## 基礎から応用、実用まで生命科学を幅広く学べます！

もっと知りたいときは >>

<https://www.agr.niigata-u.ac.jp/programs/ouyou-seimei>



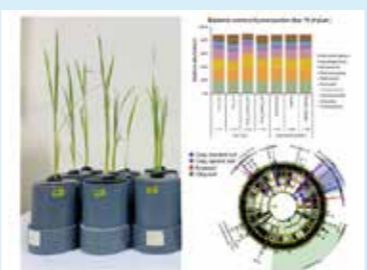
## プログラムの特色

応用生命科学とは、微生物、植物、動物等を研究対象として、遺伝子、タンパク質、生理活性物質等、生体分子および細胞の構造/機能、生物のしくみについて先端機器を使った高度な化学分析やバイオテクノロジー、ゲノムサイエンスの手法を駆使した研究を行い、これを応用して新しい機能物質の生産や生物機能の改変を行う学問です。確かな分析能力、高度な解析技術および論理的な思考を鍛える事により、現代的諸問題を科学的な手法により解決する能力を涵養します。また、実践的科目群により専門的な情報収集・プレゼンテーションのスキルを修得します。農林畜産物の生産利用・食品・環境・農業・医薬品等について、日常生活に関連の深い生物・化学関連の研究、技術開発、教育等に携わる人材を養成します。

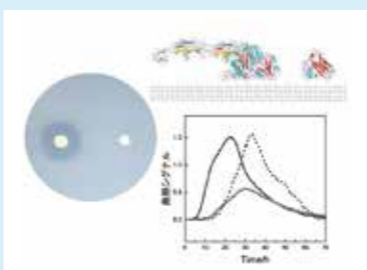
## 特色ある研究



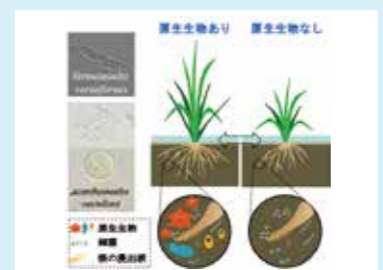
遺伝子組換えによる葉色の改変



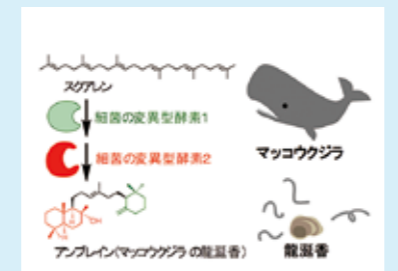
環境 DNA を利用した植物・微生物間相互作用の解明



遺伝子から細胞レベルの解析で明らかにする、細菌がキチンを分解する仕組み



イネにおける捕食性原生生物の影響



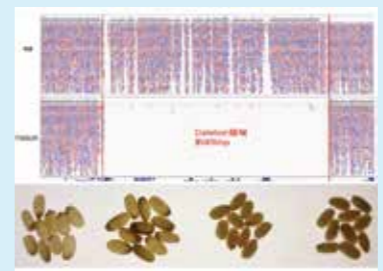
新規・希少生理活性物質の探索、生合成による創出および生物合成



土壌中での植物成分の機能を活用したファインケミカルや土壌改良剤の開発



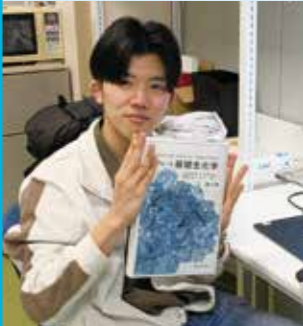
環境要因がダイズの窒素固定活性に及ぼす影響をリアルタイムに解析



代謝学による新奇物性を持つデンプンの開発

私は、農業高校在学中に稲作を経験し、大学ではイネの高温障害に関する研究をしたいと考え、応用生命化学プログラムを選択しました。本プログラムでは、「農学」と「化学」の基礎を体系的に学び、その融合によって生まれる研究に取り組むことができます。

このような学びを基盤として、所属する研究室では転写産物や代謝物を網羅的に解析するオミクス手法を習得し、イネの高温障害克服に資する資材の開発に取り組んでいます。皆さんも、未知の問題への挑戦を通じて様々なやりが



いを感じ、充実した大学生活を本プログラムで送りませんか？

農学部 4年  
村上 洋介



### 専門基礎科目

- 食品化学
- 食品工学
- 食品安全学
- 食品機能学

### 専門科目

- 栄養生化学
- 畜産食品製造学
- 醸造学
- 食品・農業情報工学

### 特色ある 授業科目

### 実験・実習科目

- 分析化学実験
- 生物化学実験
- 有機化学実験
- 食品科学プログラム  
実地見学



## アドミッションポリシー

現代の食品に求められる栄養価、美味しさ、健康など多様な機能を理解できる化学や生物の基礎学力を持ち、食品成分の化学的基礎から、食品の開発・製造・販売まで食に関する幅広い分野に強い関心のある人を歓迎します！

# 食品科学プログラム

## Food Science Program



日本酒の酒蔵見学



洗浄剤残留試験



鶏肉からのグリコーゲン抽出

## 取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状(農業)
  - 食品衛生管理者(※1)任用資格
  - 食品衛生監視員(※2)任用資格
  - 危険物取扱者(甲種)(※3)
- (※1)食品製造に関わる事業所、(※2)食品衛生に関する業務を行う検疫所(厚生労働省)・保健所(各自治体)・技術系公務員、(※3)研究所・化学工場・貯蔵施設で必要とされる資格です。

## 卒業後の進路

一般企業：朝日酒造、越後製菓、亀田製菓、キュービー、サトウ食品、昭和産業、タケショー、ニッカウヰスキー、日清製粉グループ

弊社、日本製粉、日本ハムファクトリー、ハウス食品、ブルボン、マルハニチロ、山崎製パン、理研ビタミン、味の素 AGF、ニチレイフーズ、ファンケル 等  
**法人・団体**：農業・食品産業技術総合研究機構、全国農業協同組合連合会、日本食肉格付協会 等  
**公務員**：検疫所(厚生労働省)、新潟県、青森県、秋田県、東京都、福島県、山形県、新潟市、仙台市、長野市、横浜市 等  
**大学院**：新潟大学、東京大学、お茶の水女子大学、東京農工大学 等  
 (前身の応用生物化学科食品・栄養科学コース、大学院博士前期課程修了者も含む)

## 先輩からのメッセージ

みなさん、人生を豊かにするものは何だと思いますか？ 私は何よりも「食」だと思います。おいしいものをお腹いっぱい食べれば、不思議とまた頑張ろうと思えるものです。本プログラムでは、そんな「食」の魅力に触れ、幅広い知識と実験技術を身につけることができます。そして、私はここで得た学びをもとに、ソーセージの食感をよりよくする新たな食品素材の研究をしています。「おいしさってなんだろう」「どうやって作るのか」そんな素朴な疑問を出発点に、食の未来を一緒に考えてみませんか？ きっと、お腹も好奇心も満たされるはずです！



新潟大学大学院  
総合学術研究科  
修士課程1年  
塩谷 麟太郎

充実した講義、実験・実習により「食の専門家」を育てます！

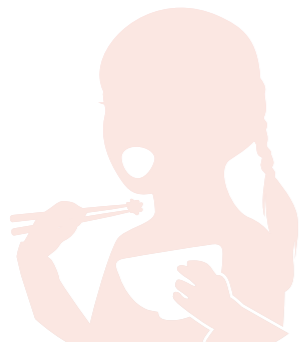
もっと知りたいときは >>

<https://www.agr.niigata-u.ac.jp/programs/shokuhin-kagaku>

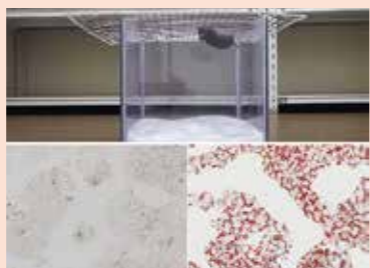


## プログラムの特色

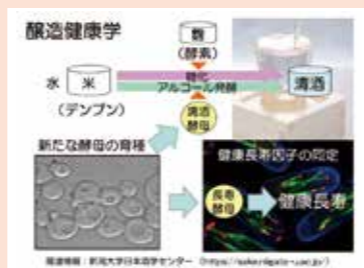
1,000社を超える食品関連企業を有する新潟は、食品産業が非常に盛んです。新潟大学は食品研究機関や企業等との連携が活発で、見学、インターンシップ、技術者による講義の機会が充実！「食品」の栄養価、化学的特性、美味しさや健康、その評価法に関する基礎を学びます。また、他学部や公的機関、民間企業との共同研究や交流が活発です。充実した講義科目に加えて、実験・実習、卒業研究等で高度な技術や考え方が身につくため、卒業生の評価が高いのが特徴です。



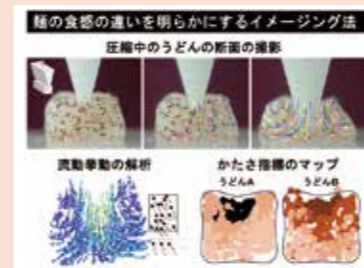
## 特色ある研究



食品やその成分の機能性探索



醸造健康学：酵母を用いた日本酒醸造・健康長寿の研究



食感の新たな計測法の開発



機器による食品の風味評価



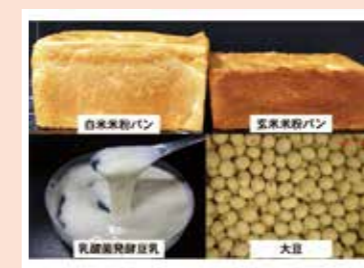
機能性糖質の創生



抗アレルギー乳酸菌  
Lactobacillus strain (L. paracasei K71)  
乳酸菌の免疫調節機能に関する研究



酵素反応速度解析プログラム  
の開発



玄米や大豆・乳酸菌等を活用した機能性食品の開発



で、私たちと一緒に「食の新たな価値」を研究してみませんか？ キャンパスでお待ちしています！

農学部4年  
讃岐 和花奈



**食料・資源経済学分野**

食料資源経済学  
国際フードシステム論  
農業経営学  
農産物流通論



**植物資源科学分野**

作物学  
果樹・蔬菜園芸学  
植物遺伝学  
植物病理学

特色ある  
授業科目

**動物資源科学分野**

動物解剖生理学  
動物遺伝学  
動物発生生殖学  
草地生態学



栽培実習（リーフレタスの収穫）



乳汁中のホルモン測定実験



家畜飼養管理実習

**アドミッションポリシー**

動植物の遺伝子から個体を取り巻く環境までを理解し、生物資源の利活用におけるバイオテクノロジーや先進的技術の開発と応用に挑戦する意思を持ち、さらに国際的視点を持ちながら食料生産や農山村地域の持続的発展に強い関心のある人を歓迎します！

**生物資源科学プログラム**  
Program of Agriculture and Bioresources

**取得可能な資格**

- 高等学校教諭一種免許状（農業）
- 家畜人工授精師（牛）

**卒業後の進路**

**一般企業：**アクシアルリテイリング、朝日工業、井関農機、越後製菓、NTTビジネスソリューションズ、カネコ種苗、兼松新東亜食品、興和、コカ・コーラボトラーズジャパン、サカタのタネ、佐藤食品工業、正田醤油、第四北越FG、富山中央青果、新潟クボタ、日本アイ・ピー・エムデジタルサービス、日本臓器製薬、日本農産工業、日本ハム、ハルナビバレッジ、ブルボン、ヤンマーアグリ

ジャパン、雪国まいたけ、横浜冷凍  
**団体・組合：**家畜改良センター、JAグループ（全国、県域、単協、関連組織）、土地改良区、日本食肉格付協会、日本草畜産種子協会、農研機構、農業共済組合  
**公務員等（農業職・行政職・教員等）：**秋田県、岩手県、沖縄県、金沢市、群馬県、国土交通省、総務省、東京都、栃木県、富山県、長岡市、新潟県、新潟市、農林水産省、福島県、山形県  
**大学院：**岡山大学、沖縄大学、神戸大学、東京農工大学、東北大学、奈良先端科学技術大学、新潟大学、広島大学（前身の農業生産科学科の例、修士修了者も含む）

**先輩からのメッセージ**

私は果物が大好きなので植物コースがあるこのプログラムを志望しました。講義では植物分野だけでなく経済、動物に関する分野も学ぶことができるため幅広い視点から農業について理解を深めることができます。

私は現在、植物細胞工学研究室に所属し、植物の形質転換に関する研究を行っています。自分の研究について勉強する中で今までの学びが活きていると実感する瞬間が楽しいです。上手いかわない時は頼もしい先生方と先輩方に相談し良い方向に導けるように取り組んでいます。

みなさんも生物資源プログラムと一緒に学びましょう！

農学部4年  
寺尾 萌



**3つの分野で幅広く学べます！**

もっと知りたいときは >>

<https://www.agr.niigata-u.ac.jp/programs/seibutsu-shigen>



**プログラムの特色**

農畜産物の新しい品種の開発・試験から、生産・普及、流通・加工、消費・循環に至るフードシステムの広大なフィールドを使って、土・稲・畑作物・産業動物等の生物資源の開発や利活用に関する先端的で幅広い知識を学べます。実際に農場を研究の舞台とし、室内のラボだけでは得られない本当の農業を幅広く体験できます！

国際的な視点をもちつつ、全国有数の農業県である新潟の農村に仲間と出かけ、現場の人たちと共に地域の悩みを考えることは、日本や世界の農業農村の持続的発展の方策や食料資源問題の解決策を科学的に考える第一歩となります。

花や果物、野菜、穀物、動物、ウイルスまで、多くの生命現象について学べます。動植物が持つユニークな特徴を明らかにすることは大変ですが、努力の末に得られた成果は大きな喜びをもたらします。

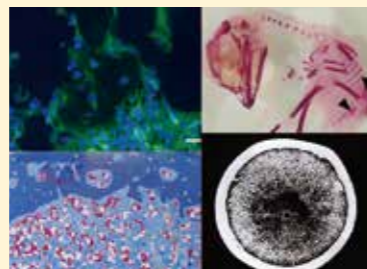
**特色ある研究**



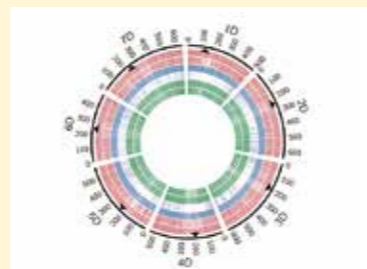
持続可能な農業・農村開発に関する研究（上海市の大規模有機・観光農場の様子）



農業・農村の労働市場問題に関する研究（集落・農家調査の様子）



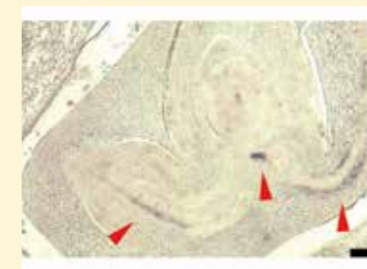
動物の骨代謝に関する研究



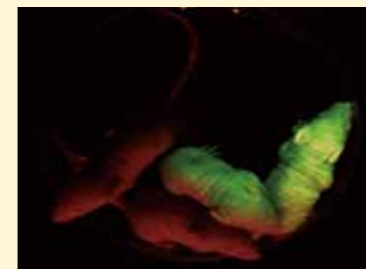
ビッグデータをもとにした生命情報解析



フィールドでの作物栽培



作物の遺伝子に着目した研究



生殖技術を利用した遺伝子改変マウスの作製



ゲノム解析によるトキ野生復帰に関する研究

私は農業高校の教師を目指して、生物資源科学プログラムで農業を体系的に学んでいます。本プログラムでは、動物・植物・経済の3分野から農業を多角的に学ぶことで、自身が興味・関心のある専門分野を見つけて、その専門分野を深く学ぶことができます。私が所属する動物分野の場合、畜産現場に沿った実践的な内容から、細胞や動物を扱った基礎生物学的な内容まで幅広く学べるため、非常に充実しています。



農学部4年  
丸山 聖奈



**持続的森林管理と生態系保全**

フォレスター入門  
林木育種学  
森林保護学  
森林再生学

特色ある  
授業科目

**食料生産の基盤整備**

農環境デザイン入門  
農地と水利用  
土環境工学  
環境材料工学

**情報ネットワークの活用**

食料環境工学  
精密農業工学  
食品・農業情報工学  
バイオマスエネルギー論



**アドミッションポリシー**

河川上流の森林地帯から中山間地を経て下流の平野部に至る流域を対象とし、地域の自然環境と調和した持続的な農林業の生産活動に強い関心のある人を歓迎します！



**流域環境学プログラム**

Program of Environmental Science for Agriculture and Forestry

一次産業と関連分野をそっと支える分野を学びます！



林業現場の見学



土の強さを調べる実験



中越地震の被災集落で行事体験

**取得可能な資格**

- 高等学校教諭一種免許状（農業）
- 自然再生士補
- 森林情報士2級
- GIS学術士
- 樹木医補

**卒業後の進路**

一般企業：鹿島建設、日本工営、本間組、五洋建設、前田建設工業、ネクスコエンジニアリング東北、開発技建、日本サミコン、ヤマハ発動機、新潟クボタ、新潟日报社、

上毛新聞社、第一生命保険、ニチレイフーズ、東京ガス、JTB、TDK ラムダ 等  
公務員・団体：農林水産省、林野庁、国土交通省、新潟県、福島県、富山県、石川県、福井県、群馬県、神奈川県、沖縄県、新潟市、上越市、鶴岡市、川崎市、江戸川区、JA、新潟県土地連、土地改良区 等  
大学院：新潟大学、九州大学、東京農工大学、千葉大学、京都大学 等

**先輩からのメッセージ**

流域環境学プログラムでは、森林や農地、河川など幅広いフィールドを対象に、実習や調査を通して幅広い知識と技術を学ぶことができます。実際に自分の目で見て体で感じながら学べるのが、このプログラムの大きな魅力です。私は現在、リモートセンシング技術を用いた森林管理・保全の研究をしています。高校生の頃には気づかなかった自然の複雑さや奥深さに、今は無我夢中で向き合う毎日です。自分の「好き」を選んだからこそ、今の学びにつながっていると感じています。皆さんも流域環境学プログラム



で、自分の「好き」を追いかけましょう。

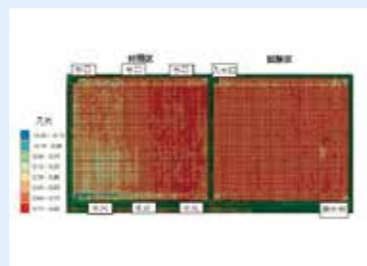
新潟大学大学院  
総合学術研究科  
修士課程1年  
和田 楓香

**プログラムの特色**

人と自然の共生を考えることができる、「緑の下の力持ち」になろう。その「力」は、河川上流の森林地帯から中山間地を経て下流の平野部に至る流域を「人の生活」と「資源の循環」の大きなまとまりとしてとらえ、地域の自然環境と調和した持続的な農林業を可能にする力。そのために、持続的な森林管理と生態系の保全、食料生産の基盤整備、および情報ネットワークの活用に関する幅広い専門知識と技術を学修します。



**特色ある研究**



作物生育指標（NDVI）を用いて空から大豆の成長を診る



土砂災害とその防止に関する研究



河川の水生昆虫と森林とのかわりの研究



田んぼダムによる洪水対策の研究



農業用ダムの機能診断に関する研究



解析に使用する現地での森林調査



花粉の出ない無花粉スギの研究



山古志の心につれる研究

流域環境学プログラムの魅力は、幅広い研究対象と多くの実習による実践的な学びです。その名の通り、「流域」を対象としている本プログラムでは山の中から都市部まで、広い地域、広い視点での研究がされています。そのため、自分の好きなこと、得意なことを見つけ、将来に活かすことができると思います。

講義の中にはフィールドワークのような実習もあり、実際に身体を動かしながら楽しく学習できます。また、1つの課題に対して学生同士で協力し合う機会も多いため、絆も深まります。

ぜひ流域環境学プログラムと一緒に学びましょう！

農学部4年  
伊東 唯花





生態学に関連した科目

野生植物生態学  
野生動物生態学  
里地里山再生学  
希少生物保全学

特色ある授業科目

災害科学に関連した科目

環境砂防学  
雪氷防災学  
斜面災害論  
河川工学

環境動態に関連した科目

古環境学  
気象解析実習  
海洋化学  
寒冷地形学

アドミッションポリシー

野生動植物の生態や保全、自然環境に配慮した防災・減災対策・災害復興、生態系や自然災害に関わりの深い環境の動態に関する知識や技術の修得と、多様なフィールドでの実践活動に強い関心のある人を歓迎します！

# フィールド科学人材育成プログラム

Program of Field Research in the Environmental Sciences

多彩なフィールド科学分野の講義・実習科目を学べます！



野生動植物の生態を体験的に理解する



地質調査法、地形調査法を学ぶ



防災施設の設計技術を学ぶ

取得可能な資格

- 高等学校教諭一種免許状（農業）
- 自然再生士補
- 森林情報士2級
- GIS学術士
- 樹木医補

卒業後の進路

**一般企業:** 環境・建設・水産コンサルタント、環境アセスメント、グリーンインフラ関連技術者、航測関係企業、造園・緑化関係企業、自然保護NPO、報道機関、エコツアーガイド、山岳ガイド、学芸員（博物館・植物園）等  
**公務員:** 国土地理院、防災科学研究所、国際協力機構（JICA）、環境省、国土交通省、気象庁、水産庁、林野庁、農林水産省、新潟県、山形県、石川県、栃木県、新潟市等  
**大学院:** 新潟大学、東京大学、京都大学、東京農工大学、九州大学、千葉大学、東北大学、北海道大学等  
(前身の農学部生産環境科学科、理学部自然環境科学科の例、修士修了者も含む)



先輩からのメッセージ

本プログラムでは、自然環境を太古・現代・未来にわたり、分野・空間・時間を横断して学びます。多様で複雑な環境課題を理解・解決するため、フィールドワークを行うことが最大の魅力です。私は現在、惑星火山研究室に所属し、火星でのイネ栽培を目指して、農学・惑星科学・火山学・土壌学など多様な視点から研究を進めています。フィールドで仲間と学び、議論し、研究する毎日には新たな発見と刺激に満ちています。これを読んでいるあなたが新たな仲間として加わることを楽しみにしています！



新潟大学大学院  
総合学術研究科  
修士課程1年  
松本 慧悟

プログラムの特色

理学部と農学部の教員が協働で講義や実習を担当する学部横断型プログラムです。理学分野における基礎科学的な講義・実習と、農学分野における応用科学的な講義・実習を同時に学べます。豊富な科目群の学修やフィールドでの実習体験を通して、野外の様々な場面での問題解決に必要な科学的知識と実践的な技術を身につけます。佐渡自然共生科学センター、災害・復興科学研究所との協働体制をとることで、生物や環境の長期調査・モニタリングを実施できる機会を提供し、より実践的な研究を行います。

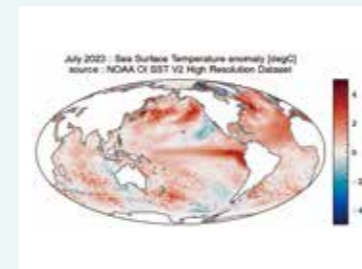
特色ある研究



森林における多様な樹木の生態の解明



陸域生態系における温室効果ガス動態の解明



異常気象・海洋現象のメカニズムの探究



地質調査自動化に向けた研究



里地里山の自然再生に関する研究



植物の目に見えない遺伝的特徴を明らかにする



山岳地域で発生している現象の解明



激化しつつある土砂災害の被害軽減に関する研究

このプログラムの魅力は、多様な実習科目を選択できることです。100種類もの樹木を見分けられるようになる実習や、災害被災地を訪れて被害の痕跡や地すべり地形を観察する実習、測量機器の使い方をマスターできる実習など、幅広い分野を体験的に楽しく学べます。私はもともと研究したいことが明確に定まっていませんでしたが、実習を通して植物に興味を持ち、現在は植物が昆虫の食害に対抗する仕組みをテーマに研究しています。野外活動が好き方や、動植物に興味がある方にとって、絶対に楽しく充実した学生生活を送ることができるプログラムだと思います。

農学部4年  
宮嶋 実姫



# フィールド科学教育研究センター

## データ駆動型大学附属農場への転換を図り、 農業のデジタルトランスフォーメーション (DX) の共創拠点となる

当センターは企画交流担当および耕地生産担当から構成され、農学部の教員と緊密に連携した教育・研究活動、地域貢献を推進しています。令和4年3月30日、新潟大学は「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」(文部科学省)に採択され、同年4月1日より「フィールドを舞台に農業DXをけん引する高度農業人材育成プログラム」を開始しました。スマート田植機、日本に1台の土壌分析装置、最先端のロボットトラクタ、温室効果ガスのモニタリングシステムなど高度なDX機器を大学附属農場に導入しました。現在は、これらのDX機器を農学部の教育と研究にフル活用して、データサイエンティストの資質を備えた高度農業人材の育成を推進しています。さらに、農業DXに関する産業界等と共創拠点を村松ステーションに形成することに努め、地域の課題解決を図ります。

### 企画交流担当

農業生産と環境保全に関する教育・研究を推進するために、総合的なプログラムおよびプロジェクトを企画調整しています。特に、地域特有の農業・環境問題を積極的に汲み上げ、農学部と地域社会との交流窓口として情報の収集・管理・発信を行っています。



農学部FCシンポジウムの開催



五泉市との連携事業「菜の花畑作り」

### 耕地生産担当

#### 【概要】

耕地生産担当には村松ステーションと新通ステーションの2つのステーションがあり、それぞれ五泉市(旧村松町、新潟大学から45km)、新潟市西区新通(新潟大学から3km)に所在しています。村松ステーションは16haの圃場を有し、食用作物(ジャガイモなど)、野菜類(ニンニク、ダイコンなど)、牧草および試験栽培として陸稲を作付け、乳牛や羊を飼育しています。新通ステーションは2.7haの圃場を有し、水稻を中心に作付けし、転作作物としてタマネギ、エダマメ、ソラマメなどの野菜を栽培しています。



農業用ドローンの実演飛行(村松ステーション)



搾乳実習(村松ステーション)



可変施肥田植機による水稻機械移植(新通ステーション)



水稻機械収穫(新通ステーション)

#### 【教育・研究】

基礎的な農作業体験を目的として、農学部全学生の必修科目である「基礎農林学実習」を両ステーションで開講して

います。また、植物生産学・動物生産学・生物生産機械学を専攻する学生の専門的な実習も開講しています。耕地生産担当では、播種から収穫まで、また出産から牛乳生産までの農業生産の全過程を対象にして、環境負荷の少ない持続的農業に関する研究を行っています。村松ステーションでは、農業機械利用による省力生産技術、耕種と畜産での資源循環、資源循環型酪農における乳牛の生産性および繁殖成績について研究しています。新通ステーションでは、気候変動に対応できる水稻新品種の開発、環境に配慮した野菜栽培技術について研究しています。令和4年度より、デジタル技術を活用した先進的な農業機械、計測機器を導入し、データ駆動型大学附属農場への転換を図りながら、農業DX(デジタルトランスフォーメーション)への取り組みを推進しています。

#### 【地域連携・社会貢献】

村松ステーションでは、五泉市と連携して、地域中学校の農場実習や児童・園児の農場見学などを受入れているほか、学校給食用野菜を提供しています。新通ステーションでは、園児の農業体験を毎年開催しています。また、大学院における教育プロジェクトの一環として、地元の酒造会社と連携し、新通ステーションで栽培した酒米を原料とする大学ブランドの日本酒「新雪物語」を造っています。他に、生産物の販売を通して地域との交流を行っています。

# 入試情報

## 【募集人員】

学部	学科	入学定員	募集人員				
			一般選抜		学校推薦型選抜	帰国生徒	社会人
			前期日程	後期日程			
農学部	農学科	175人	111人	30人	34人	若干人	-

## 【募集方法】

一般選抜では、農学科で一括して募集します。学位プログラムは、2年次進級時に決定します。学校推薦型選抜I型では、学位プログラムごとに募集し、合格者を決定します。フィールド科学人材育成プログラムの募集は行いません。学校推薦型選抜II型では、農学科で一括して募集します。学位プログラムは2年次進級時に決定します。

学部	学位プログラム	募集人員			
		前期日程	後期日程	学校推薦型選抜	
				I型	II型
農学科	応用生命科学	111人	30人	2人	21人
	食品科学			2人	
	生物資源科学			5人	
	流域環境学			4人	
	フィールド科学人材育成			-	

## 【一般選抜】

区分	大学入学共通テストの利用教科・科目			区分	個別学力検査		
	教科	科目名等	必須		教科等	科目名等	必須
前期・後期	【国】	国語	必須	前期	【数】	数I・数II・数A・数B・数C	【数】【理】から2
	【数】	「数I、数A」「数II、数B、数C」	必須		【理】	物基・物、化基・化、生基・生、地基・地学から1又は2	
	【理】	物理、化学、生物、地学	左記から2			【外】	英(英語コミュニケーションI~III・論理・表現I~III)
	【外】	英、独、仏、中、韓	左記から1	後期	【その他】		面接
	【地歴・公民】※1	「地総、地探」、「歴総、日探」、「歴総、世探」、「地総、歴総、公」、「公、倫」、「公、政・経」	左記から1				
【情】	情報I	必須					
(6教科8科目)							

※1「地理総合、歴史総合、公民」を選択する場合は、3つの出題範囲(「地理総合」、「歴史総合」、「公民」)のうち、2つを選択解答すること。

## 【学校推薦型選抜】

1. 募集・選抜方法及び配点 学校推薦型選抜I型では、学位プログラムごとに募集します。フィールド科学人材育成プログラムの募集は行いません。学校推薦型選抜II型では、農学科で一括して募集します。学位プログラムは2年次進級時に決定します。

学科名	学位プログラム	募集人員	大学入学共通テスト			本学が実施する試験			合計		
			教科	科目	配点	小論文	面接	書類審査			
農学科	I型	応用生命科学	-	課さない	-	50	30	20	100		
		食品科学									
		生物資源科学									
		流域環境学									
農学科	II型	21	【数】	「数I、数A」「数II、数B、数C」	【数】【情】	200	-	120	80	800	
			【情】	情報I	【理】						物理、化学、生物、地学
			【理】	左記から1	【外】						英語
			【外】	必須	200						

## 2. 出願要件

学科名	学位プログラム	高等学校の範囲等	概ねの募集人員	
農学科	I型	応用生命科学	農業、工業、水産及び家庭に関する学科並びに総合学科(注1、2)	2人
		食品科学	農業、水産及び家庭に関する学科並びに総合学科(注1、3)	2人
		生物資源科学	農業に関する学科及び総合学科(注4)	5人
		流域環境学	農業及び工業に関する学科並びに総合学科(注5)	4人
	II型	農学科一括 応用生命科学 食品科学 生物資源科学 流域環境学 フィールド科学人材育成	高等学校の普通科等	21人

(注1) 家庭に関する学科は、食物に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

(注2) 総合学科は、農業、工業、水産又は食物に関する教科・科目をいずれか20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

(注3) 総合学科は、農業、水産又は食物に関する教科・科目をいずれか20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

(注4) 総合学科は、農業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。

(注5) 総合学科は、農業及び工業に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む。)した者を対象とします。